

平成29年度 学校関係者評価書

1. 学校評価の年次報告について

- ①学校評価に係わる各種アンケートの情報収集は、年次計画通りすべて実施できた。
- ②情報収集の実施方法と集計処理において、教員から一部について改善を促す意見もあり次年度に向けて検討し善処したい。
- ③学校関係者評価委員会は、委員の改選もあり6月に実施した。
- ④学校関係者評価委員会は、6月・11月・3月と年間3回開催した。
- ⑤学校関係者評価委員会の意見は職員会議や運営委員会あるいは科会等において各教職員に復伝し、業務改善に努めた。

2. 学校関係者委員からの意見(3回分総括)

- ①生徒が自宅での学習時間を確保することは大事だが、なかなか家では親の言うことも聞かないので学校で面倒を見てもらいたいという保護者が多いと思う。しかし、補習を朝や放課後に実施するには先生方も多忙であるので、現実的には「学校+塾」というスタイルも仕方ないのではないか。
- ②新しい大学入試が始まるということだが、具体的にどのような形式になるのか。
- ③就職する生徒もいるので、社会人になるにあたって挨拶ができる礼儀正しい人づくりを学校は傾注してほしい。
- ④いわゆる「いじめ問題」が大きな社会問題となっている。高水学園も、この対策を万全にとってほしい。
- ⑤学校行事のなかでも特に運動会や楽学祭はとても良かった。
- ⑥姉が高水に通学するときは学習塾へ通う生徒は少なかったが、今は多くの生徒が通塾しているように感じる。下の子(息子)は中3になるが、塾に行かせなくてはならないのだろうか。できるなら学校で面倒を見てほしいと思う。同級生を持つ他の保護者からも、中3でクラブ活動が終わった2学期からは塾に行かせなければならぬのだろうかという不安の声も聞いている。
- ⑦自己評価書(中間報告)5-7の項目に「教員の遅刻・欠席をなくす」という目標が掲げているが、実際に高水の教員には「無断の遅刻・欠席」はあるのか。
- ⑧自己評価書(中間報告)3-課題の項目で、「ボランティア活動における生徒間の意識」に格差が見られるとあるが、学校はどのような対応を考えているのか。
- ⑨自己評価(中間報告)保健体育の項目の中に、高3の生徒の中にだらしない生徒がいるという記載があるが、学校としてはどのような対応を考えているのか。
- ⑩不登校生徒が生じたさいには、学校は家庭訪問等を実施するなど大変であったと思うが、高水はよく対応していただいたと感じている。マスコミは、とにかくといえば学校叩きをする傾向にあるが、現実には家庭環境などに起因することが多い。不登校などの事案が生じたさいには学校は保護者と連絡を密にとって対応してほしい。
- ⑪自己評価書(最終報告)をみると、多くの部署で達成度は高い評価がされている。次年度に向けて、さらに目標を高めて邁進してほしい。
- ⑫最近の保護者も生徒も何を考えているのか考察することが難しい点が多いが、学校は多様化した考え方を持つ保護者や生徒に柔軟にかつ適確に対応してほしい。
- ⑬ユネスコスクールとして、山口県では先頭に立って活躍されていることにお礼を申し上げたい。また、今後とも「よくわかる授業」を展開していただくとともに、地域からも愛される生徒の育成にむけてご尽力されるように期待する。